

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 6 日

評価対象事業		評価者	文化人権課担当課長 藤田 聡一郎	
共創-21	実施事業	川喜多映画記念館等管理運営事業 ■ 自治事務 □ 法定受託事務	主管課	文化人権課(文化人権推進課)
	まち・ひと・しごと		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	文化	施策の方針	文化活動の支援・推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	映画や映像文化の発信拠点である川喜多映画記念館及び旧川喜多邸の別邸であった旧和辻邸の適正な管理運営を図るため。
効果	訪れた市民などが、川喜多夫妻の功績にふれながら、映画の資料や鎌倉の風情を楽しむことにより文化意識の醸成を図る。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<p>・指定管理者による川喜多映画記念館等の効率的な管理運営を実施するとともに、施設の維持管理を行った。</p>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数	27,382人	20,973人	20,973人	20,973人	20,973人	20,973人		
運営資源状況	決算値(千円)	36,231	36,062	36,062	当初予算(千円)	36,884		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他	3	4	4	その他	3		
	一般財源	36,228	36,058	36,058	一般財源	36,881		
	人員配置数	0.7	0.7	0.7	人員配置数	0.7		
	人件費(千円)	5,297	5,289	5,289	人件費(千円)	5,454		
事業運営	総事業費(千円)	41,528	41,351	41,351	総事業費(千円)	42,338		
	市民1人当りの経費(円)	235	234	234	市民1人当りの経費(円)	240		
	対象者1人当りの経費(円)	1,517	1,972	1,972	対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 ○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 市民団体 (不特定)

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	引き続き、指定管理者と連携しながら効率的な管理運営と施設の適切な維持管理を行っていく。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<p>効率性については、委託料削減の可能性があるため、「事業費の削減余地」は「ある」とした。 川喜多映画記念館は全国的に見ても数少ない映画文化の発信拠点である。また、旧和辻邸は景観重要建造物に指定されている。平成24年度から平成28年度までは来館者数が増加傾向にあったが、平成29年度は対前年度の77%止まりとなった。企画により集客が変動するのが主な原因だが、指定管理期間内の企画は応募時に提案されているため、内容の変更は難しい。このことから、企画に対する効果的な周知やアピール方法を工夫し、集客を図るような検討が必要であることから、「事業の成果は概ね出ているが、更なる努力が必要」とした。 市民等が企画段階から参加する事業を各年度実施し、市民団体等との協働に努めている。 引き続き、映画文化発信拠点として更なる事業の充実を図り、より多くの市民の方に利用してもらえるよう努めていく。</p>
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 市民参加型事業について、協働の手法等を検討し、一層の充実を図る。 来館者数は増加傾向にあるが、来館者が高い満足度を得られるような事業内容等が求められる。 	
課題解決のために行った平成29年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 市民参加型事業として、市民団体が企画段階から参加する事業を実施した。 展示事業の周知を効果的に行うとともに、来館者増加に努めるため、各種メディアの取材やツアー等の団体対応を積極的に行った。 限られたスペースで満足度の高い展示を行う手法を検討し、行った。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	来館者数が前年度を下回ったことにより、安定した来館者数を維持するため、企画に対する周知、PRについて検討を行う必要がある。 次期の指定管理者選定に向けた募集内容の見直す必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	来館者数(年度)	単位	人	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
より多くの市民等に施設を利用してもらうため。	目標値	24,050.0	25,000.0	25,000.0	25,000.0	25,000.0	25,000.0
	実績値	23,675.0	27,125.0	27,382.0	20,973.0		
	達成率	98.4%	108.5%	109.5%	83.9%		

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	平成24年度から平成28年度までは来館者数が増加傾向にあったが、平成29年度は対前年度の77%止まりとなった。企画により集客が変動するが、指定管理期間内の企画は応募時に提案されているため、内容の変更は難しい。このことから、企画に対する効果的な周知やアピール方法を工夫し、集客を図る検討を行い目標値の達成を目指す。
-----------------------	--